

8+9 2020  
企画書

1. タイトル：「長崎市被爆75周年記念事業  
8+9 2020 ～ナガサキの地でアートを考えるⅡ～」
2. 会 期：2020年 7月19日（土）～9月5日（土）
3. 会 場：第1会場：長崎ブリックホールギャラリー・交流スペース  
7月19日（日）～7月30日（木）10：00～20：00  
第2会場：長崎歴史文化博物館（エントランス・回廊・中庭）  
7月26日（日）～8月16日（日）8：00～18：00  
第3会場：長崎県美術館（エントランス・運河ギャラリー）  
8月4日（火）～8月15日（土）10：00～20：00  
第4会場：ナガサキピースミュージアム  
8月11日（火）～9月5日（土）9：30～17：30  
第5会場：爆心地公園“誓いの火”灯台モニュメント  
8月9日（日）9：30～15：30
4. 主 催：RING ART 運営委員会
5. 協 賛：長崎市
6. 協 力：長崎歴史文化博物館
7. 後 援：駐日ポルトガル大使館 駐福岡大韓民国総領事館  
在名古屋ブラジル総領事館 長崎県 長崎県教育委員会 長崎市教育委員会  
長崎大学教育学部（一社）日本ポルトガル協会 長崎日本ポルトガル協会  
長崎新聞社 朝日新聞社 西日本新聞社 NHK長崎放送局〔予定〕
8. 出 品 者：現代美術家、一般市民など。作品のジャンルを問わず、どなたでも出品します。  
（これまで国内外のアーティスト50～100名が参加）  
〔招待作家〕フランシスコ・ラランジョ（ポルト大学教授・ポルトガル）  
姜 バレム（昌原大学校名誉教授・韓国）  
イヴォネッチ・カルヴァカンチ（アート講師・ブラジル）  
地球の平和を願うブラジルの子供たち  
  
〔特別参加〕川口 和男（画家/故人） 一瀬 比郎（画家/故人） 山下 良夫（画家）  
小畑 郁男（作曲家）  
  
〔メッセージ アート〕各会場に展示予定  
早見 堯（美術評論家） 渡部 幹雄（和歌山大学名誉教授） 高橋 眞司（哲学者）  
宮田 徹也（京都嵯峨美術大学客員教授） 長野 ヒデ子（絵本作家）  
宮本 圭子（“誓いの火”灯台維持会） 藤松 綾子（親和アートギャラリー学芸員）  
菅 章（美術評論家） 小畑 郁男（作曲家） 竹下 芙美（長崎の被爆遺構を保存する会）
9. 事業内容一覧表（日程順）  
〔パフォーマンス〕  
日時：7月26日（日）14：00～  
会場：長崎歴史文化博物館  
パフォーマー：丸山 常生（美術家）

[シンポジウム]

タイトル：「ナガサキの地でアートを考えるⅡ」

日時：8月6日（木）14：00～15：30

会場：長崎県美術館ホール

コーディネーター：菅 章（大分市美術館館長）

パネリスト：山下 良夫（画家） 櫻井 裕美（故川口和男御息女）  
高橋 眞司（哲学者） 井川 惺亮（RING ART 会員）  
竹下 芙美（長崎の被爆遺構を保存する会）

[オープニングセレモニー]

日時：8月8日（土）13：00～

会場：長崎県美術館 エントランス

[作曲演奏]

タイトル：《長崎の空に関する幾つかの断章

- 故川口和男の絵画への注釈》新作初演

日時：8月8日（土）13：30～

会場：長崎県美術館ホール

演奏：小畑 郁男（作曲家）

[講演会・トーク]

タイトル：「被爆75年とアートの役割」（仮）

日時：8月8日（土）14：00～15：30

会場：長崎県美術館ホールと同館内8＋9展 展示場

講師：宮田 徹也（京都嵯峨美術大学客員教授）

[折り鶴ワークショップ]

第1会場 長崎ブリックホール（練習室2）

日時：7月20日（月） 午前の部 10：00～12：00

午後の部 13：00～15：00

第2会場 長崎歴史文化博物館（エントランス）

日時：7月30日（木）・8月2日（日）10：00～12：00（両日）

第3会場 長崎県美術館（運河ギャラリー）

日時：8月4日（火）・5日（水）10：00～12：00（両日）

※全会場の参加費無料

[アート・ワークショップ]

日時：8月11日（火）14：00～16：00

会場：ナガサキピースミュージアム

講師：フランシスコ・ラランジョ教授（ポルト大学）

[特別展]「川口和男と一瀬比郎 追悼展」

日時：7月26日（日）～8月16日（日）8：00～18：00

会場：長崎県美術館エントランス ※特別展示コーナーを会場に設けます。

[メッセージアート]

学者や評論家、平和活動家など様々な分野の専門家から、「平和」に対するメッセージを執筆いただき、「言葉」によるアート表現として展示します。

※会期中、各会場に展示します。

10. 入場料：無料(全会場)

## 11. 趣 旨：

私たち RING ART は、未来に生きる子どもさんらにアートで平和の大切さや美しさを伝えることが最大の使命としています。同時に私たち RING ART は、長崎の被爆の風化する状況をアートの力で食い止め、そして平和の発信をすることにもあります。幸い昨年、公募「長崎市被爆 75 年記念事業」に応募し、これまでの実績などが認められて採択されました。

本展のトピックの 1 つに、昨夏展のシンポジウムのタイトル「ナガサキの地でアートを考える I」を引き継ぎ、本展もそのシンポジウム II を開きます。大分市美術館長・菅章氏をコーディネーターとしてお迎えし、新たな視点で地元画家（被爆者も含む）らの美を想像する根源を問うてみることにしました。

またもう 1 つのトピックスは、「被爆 75 年とアートの役割」と題し、講演会で美術史研究家の宮田徹也氏に語っていただき、その後会場作品のトークを行います。

フィナーレでは、本展最大のイベントである「折り鶴パフォーマンス」を実施します。被爆者・故渡辺千恵子氏のご尽力により、ギリシャ政府からギリシャ・オリンピアで採火された聖火が長崎へ運ばれました。その火が灯る長崎爆心地公園の「長崎を最後の被爆地とする“誓いの火”灯台モニュメント」の下で、恒例の「折り鶴パフォーマンス」を実施します。原爆の日に爆心地を訪れる観光客や通行人らに呼びかけ、平和を願いながら折り鶴を折ってもらいます。灯台に飾られた折り鶴は、平和な光景として見事に輝き、近年では観光客や通行人らが SNS などで発信し、話題となりつつあります。

それから、各方面でご活躍されている方々に平和の在り様を「メッセージアート」として綴ってもらい、大きな話題となりつつあります。そして、何よりも国内外から届くアーティストの作品群が各ギャラリーに、さらにポルトガルからはフランシスコ・ラランジョ・ポルト大学教授、韓国から姜バレム・昌原大学校名誉教授らも交えて展覧されることは、全ての催し物と合わせて、真に長崎における 平和の美の祭典となります。

オープニングには、昨夏お亡くなりになりました被爆画家・川口和男氏の自作に書かれたコメントをもとに、長崎の作曲家・小畑郁男氏によるレクイエムの曲が流れます。

## 12. 関連企画

展覧会①「井川惺亮〈誓いの火と共に〉」

日 時：7 月中旬から開催予定

9：30～17：30（月曜休館日・最終日は 14：00 まで）

会 場：ナガサキピースミュージアム

内 容：「アートが平和に貢献するか」という井川の問いかけを「光」をテーマにした個展。また、長崎にとって重要な被爆者故渡辺千恵子氏がもたらしたオリンピアの火が爆心地公園に“誓いの火”灯台に灯されている。1987 年に建立された井川のデザインによるこの灯台のもつ意義、そして「平和とアート」について、未来志向のアートとして展開する。

展覧会②「Francisco LARANJO & Seiryō IKAWA 展」

日 時：8 月 7 日（金）13:30～15:00（要予約・入場受付）

8 月 10 日（月）13:30～15:00（要予約・入場受付）

8 月 11 日（火）10:30～12:00（要予約・入場受付）

会 場：延命寺 庫裡広間と中庭（長崎市寺町 3-1 電話：095-822-8563）

内 容：フランシスコ・ラランジョ教授（ポルト大学）の墨によるアートと、井川惺亮の掛け軸作品による現代アートの展覧会。2010 年、日葡修好 150 年を機に長崎大学とポルト大学の学術提携を機に交流が始まった。10 年後となる今年、再び長崎の地で二人展を開催する。※入場は要予約

13. 連絡先： RING ART 運営委員会事務局（野坂 知布）

〒852-8151 長崎市泉 2 丁目 24-24-1015

（TEL・FAX）095-894-8537（E-mail）kawstt@gmail.com

（携帯）090-9573-8370